

Can do をベースにしたカリキュラムの事例 [就労]

平山智之 (一般財団法人日本国際協力センター)

「定住外国人に対する就職支援における Can do ベースのカリキュラムデザイン」(アウトライン)

(1) カリキュラム開発の経緯、背景

行政の枠組みの中でのカリキュラム開発

- ・「外国人就労・定着支援研修」(厚生労働省 委託事業 2015~)
- ・少子高齢化の進行と労働力人口の減少 外国人就労者に対するニーズの高まり。
- ・就職への意欲が高いと認められるにも関わらず、安定的な雇用に就くことが困難な未就業の定住者に対する就労支援。
- ・短期間(100時間程度)で就職活動・就労現場での課題を乗り越えていく一定の力を身につけることが求められる。

受講者の特徴

- ・身分に基づく在留資格をもつ者(職種に制限がない。以後、定住外国人と記す。)
- ・国籍、希望職種、学習経験、就業経験、在住地域が多様な定住外国人

開発者(JICE)の方針

- ・就職活動や職場でのコミュニケーションに参加するための手段としての日本語を身につけられるよう、課題達成型(タスクベース)の学習支援を目指す。
- ・受講者ひとり一人の多様な背景を活かした日本語学習支援を目指す。

「日本語教育の参照枠」(あるいはCEFR)をベースにカリキュラムを開発したのではないが、「日本語教育の参照枠」における言語教育観との親和性が高い。

コースデザイン担当者・協力者・関係者

- ・事業委託者(厚労省)や、社会保険や労働法規の専門家(行政書士、社会保険労務士)、職場支援者(労働局・ハローワーク)、キャリア支援専門家、日本語教育専門家らと相談・連携して開発。

JICE の事例から分かること

- ・就労者に対する日本語教育の多様な現場の中でも、就職あるいは安定した就労を目指す人を対象としたカリキュラム開発のプロセスの一例。
- ・既存のカリキュラム(カリキュラムの背景にある理念、カリキュラムのもつ課題など)を再考する目的で「日本語教育の参照枠」を活かすことができる。
(手引きの活用方法をどう示すのか。)

(2) 対象、目的

本カリキュラムの対象者

- ・就職/安定した就労を目指す定住外国人(業種・職種が未確定の者多数)
- ・体系的な日本語学習経験のない受講者が多い。(自然習得の範囲)
- ・レベル1の受講者...「基礎段階の言語使用者」にあたる定住外国人

目的

- ・職場でのコミュニケーションに参加するための支援。
(業務の遂行、異文化理解、人間関係構築などを含む。)
キャリアプランニング・就職活動の支援も並行して実施するが、ここでは扱わない。

(3) カリキュラム開発のプロセス

ニーズの把握

- ・企業等への調査をもとにどの業種・職種・職場でも共通の課題を特定。
職場における日常的な範囲での情報交換、日常的な表現。
(事務的作業、労務、人間関係構築に関する課題)
特定の業種・職種、特定の職場での課題は、シラバスに含まない。

目標の設定(本「手引き」では、主に「やりとり」に関連する部分を中心に抜粋。)

職場におけるコミュニケーション課題を Can do の形で記述

- ・行動目標：「職場における課題」の設定
(事務的作業・労務・人間関係構築に関する機能)
- ・学習目標：行動目標を達成するために取り組む下位項目の課題の設定
(詳細なコミュニケーション課題のリスト)
「社会言語能力」「言語運用能力」の視点を含む Can do も

レベル1 (基礎段階の言語使用者) が、職場で日本語を使ってできること

【行動目標の Can do の例】

- ・職場内で一緒に働く人に簡単に自己紹介ができる。
- ・仕事の簡単な指示を理解し、指示に沿った行動ができる。
- ・勤怠に関わる基本的な連絡や相談(例：遅刻の連絡、休暇取得の相談)ができる。

指導において日本語教師に求められること

- ・先行ロールプレイを実施し、学習目標の Can do をもとに確認・フィードバック
- ・談話展開例を介して就労場面に関する文化理解、自然習得では身につけにくい難しい表現などの理解を支援する。
例) 生活場面との違い、母国との違い、非言語コミュニケーション等に注目。
- ・受講者の就労経験や既有知識をできるだけ共有してもらい、職場の多様性・個別性の理解を支援する。
例) 職場によって適切なコミュニケーションのあり方が異なる可能性に注目。

受講者は自身がどんな働き方を志向し、どんな仕事を探していくのかキャリアプランニングも並行して取り組む。

(4) 評価の方法 参考資料(評価資料 ~)

- ・授業内でのフィードバックと自己評価(学習目標のリストを使用)
- ・ルーブリックを使用したパフォーマンス評価
- ・担当講師らによる観察に基づく総合的評価
- ・就職支援者(ハローワーク)への橋渡し：「できることリスト」の共有

(5) 運用した結果、効果

- ・ Can do による「職場における課題」の明示によって、教師と受講者の間で目標が共有できることによる効果。

課題について、受講者の既有知識や就労経験の共有がしやすくなる。受講者同士の日本語や母語を駆使したやりとりが生まれ、受講者個人が、自身の目標について自覚的になる。

課題達成の過程を Can do リスト（学習目標）でチェックすることができ、何ができるようになったか / なっていないのかが明確になる。その後の自分の目標を明確にできる。

- ・ 先行ローププレイ、談話展開例を介した学び、Can do リストで自己評価するという一連の活動の効果。

日本の職場のマナーについて考えたり、自然習得では聞き取れなかった表現が理解できるようになったりすることで、就職活動での自信につながったという声が多い。自分の日本語力を駆使してやりとりを試みる姿勢につながっている。

談話全体を意識した一連の発話を意識できるようになる。

のちに就職先で、その業種や職種に関わる研修などをする際に、現場で指導する人からもコミュニケーションがとりやすいという声がある。

(6) 課題

- ・ 全国 23 都府県で授業が展開されるため、地域ごとの就労環境がある。Can do を基に組み立てられたカリキュラムの中で、現場の教師は、受講者が置かれた地域や個別の文脈の理解に努めながら、そのクラスに適した Can do や指導をアレンジしていく力なども求められる。
- ・ 求職中の定住外国人の日本語レベルは、生活者としての日本語使用環境とも連動しており、クラスに集まる受講者の背景は、非常に多様である。その点においても、受講者への個別の柔軟な対応が求められる。

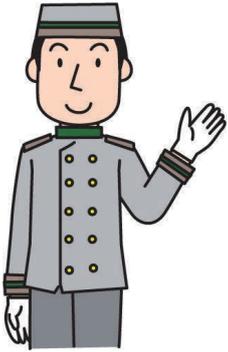
(7) カリキュラムのサンプル（机上配布資料）

- ・ Can do による職場のコミュニケーション課題 全 20 回
- ・ 学習項目（目標）は添付の表をご参照ください。



2021年度 厚生労働省委託事業
Program commissioned by the Ministry of Health,
Labour and Welfare

無料・Free・Gratuito・免费



ていじゅうがいこくじんむ
定住外国人向け

しごとのための
にほんご
日本語

Japanese Language
for Work

がいこくじんしゅうろう ていちゃくしえんけんしゅう
外国人就労・定着支援研修

Training Course for Promoting Stable Employment of Foreign Residents
Curso de apoio para Promover Emprego aos Residentes Estrangeiros
Curso de Apoyo al Empleo para Residentes Extranjeros
定居外国人就職支援课程



一般財団法人 日本国際協力センター
Japan International Cooperation Center
<https://www.jice.org/>



研修目的

- ① 身分に基づく在留資格の定住外国人等を対象に、日本の職場におけるコミュニケーション能力の向上、ビジネスマナーや雇用慣行、労働関係法令、社会保険制度等に関する知識を習得
- ② 国内企業における安定的な就職及び職場定着の促進を図る

対象者

就職への意欲が高いと認められるにも関わらず、日本の職場におけるコミュニケーション能力やビジネスマナー、雇用慣行等に関する知識が不十分なため安定的な雇用に就くことが困難な未就業の者や、本研修の受講により安定した就労への移行が見込める就業中の者等

受講料

無料

申込方法

公共職業安定所（ハローワーク）で受付

研修期間

約3カ月（会場やコースにより異なります）

研修修了後

修了要件を満たした受講者に修了証書を授与します

定住外国人

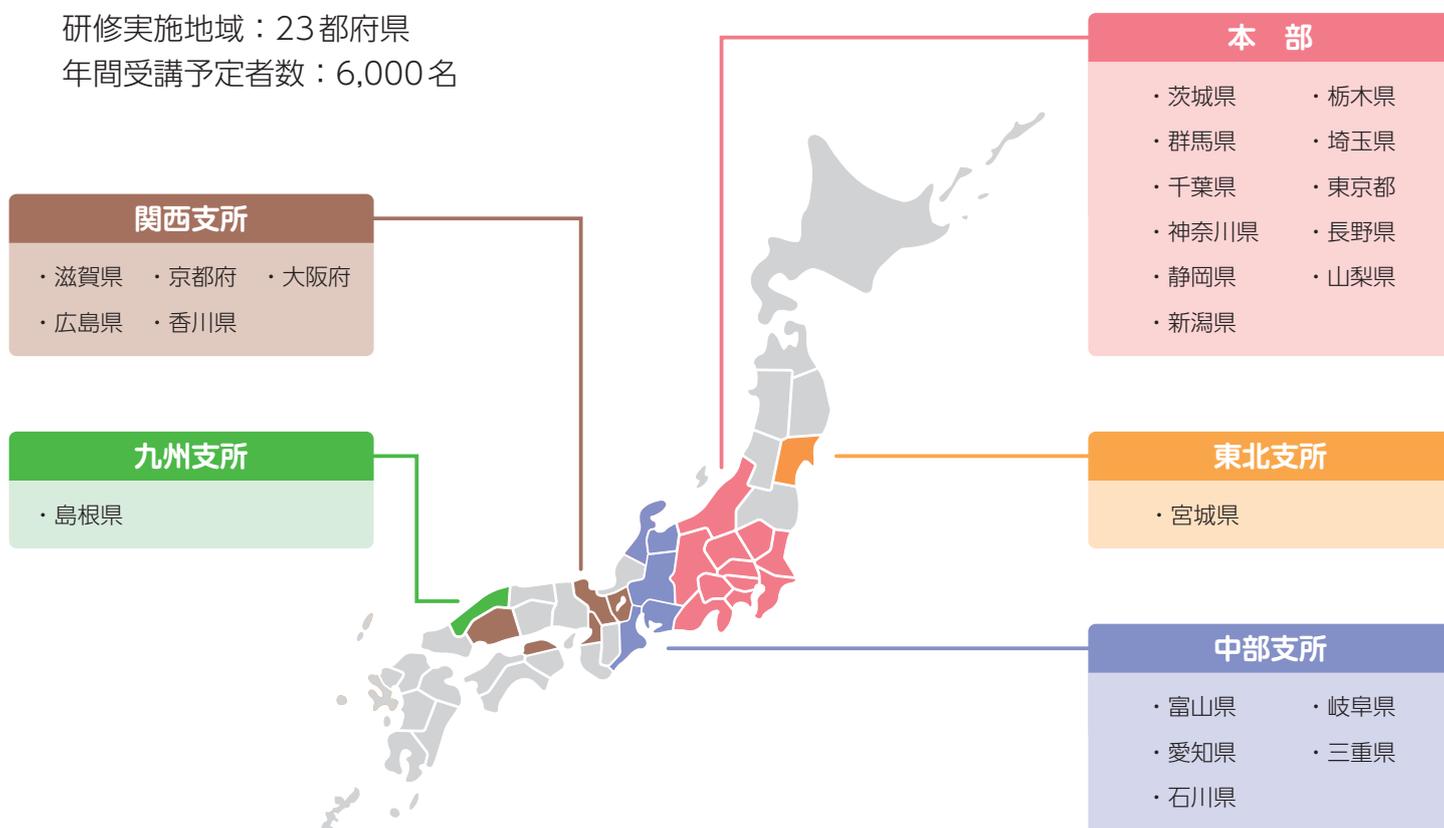
・永住者 ・日本人の配偶者等 ・永住者の配偶者等 ・定住者

※本研修は、厚生労働省から委託を受けた一般財団法人日本国際協力センター（JICE）が実施しています。

研修実施地域（2021年度予定地域）

研修実施地域：23都府県

年間受講予定者数：6,000名



● 学習内容

このコースでは、安定就労に向けて、「はたらく」場面で用いる日本語やビジネスマナー、雇用慣行などを学習します。

職場見学、就労講義、ハローワーク訪問（※）などを実施し、安定就労につなげます。

レベル1	100h	<p>初めて日本語を勉強する人、日本語が少し話せるが、ひらがな・カタカナの読み書きが苦手な人のコースです。</p> <p>▶ 職場でのコミュニケーション（会話・読み書き） …職場での簡単な指示の理解や、簡単な連絡・相談の仕方</p> <p>▶ キャリアプランニング・就職活動（求人票・応募書類・面接）</p>	安定的な就職及び職場定着の促進
レベル2	100h	<p>ひらがな・カタカナの読み書きができ、日本語を少し勉強したことがある人のコースです。生活の中で日本語での簡単なやり取りが少しできる人のコースです。</p> <p>▶ 職場でのコミュニケーション（会話・読み書き） …職場の慣行（手続き、イベント等）の理解や、職場での簡単な確認・相談の仕方</p> <p>▶ キャリアプランニング・就職活動（求人票・応募書類・面接）</p>	
レベル3	100h	<p>ひらがな・カタカナや簡単な漢字の読み書きができ、生活の中である程度会話ができる人のコースです。状況や相手に合わせた職場での話し方をさらに伸ばしましょう。</p> <p>▶ 職場でのコミュニケーション（会話・読み書き） …職場での簡単な指示・確認・伝言・報告・連絡・相談・提案の仕方など</p> <p>▶ キャリアプランニング・就職活動（求人票・応募書類・面接）</p>	

（※）コース内でハローワークを訪問し、利用方法について学んだり、実際に求職登録を行うことを予定しています。

● オリジナル教材

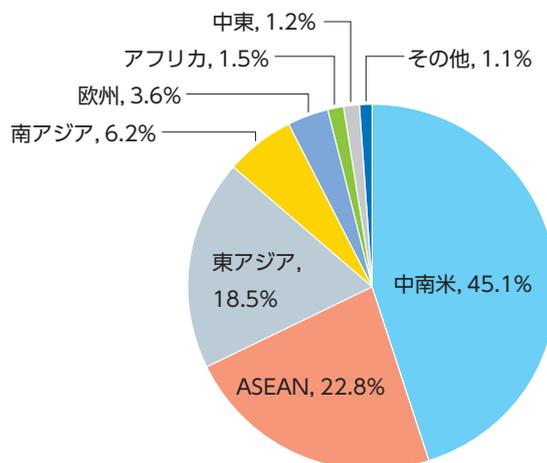


《対応言語》

- ・ポルトガル語
- ・スペイン語
- ・英語
- ・中国語
- ・ベトナム語

▼受講者の主な出身国・地域（2019年度実績）

中南米	ブラジル、ペルー、ボリビア、メキシコ、コロンビア、パラグアイ、アルゼンチン
北米	アメリカ、カナダ
東アジア	中国、韓国、台湾、モンゴル
ASEAN	フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシア、ミャンマー
南アジア	インド、ネパール、スリランカ、バングラデシュ、パキスタン
欧州	ロシア、ウクライナ、スペイン、フランス、イギリス、イタリア、ルーマニア、ドイツ
アフリカ	モロッコ、エジプト、スーダン
中東	イラン、トルコ、シリア
大洋州	オーストラリア
計 87 カ国・地域	





本研修についてのお問い合わせ先： 一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

（本部）

〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号小田急第一生命ビル15階

TEL：03-6838-2723（国際協力推進部多文化共生課 直通）

（東北支所）

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目5番1号 オーク仙台ビルディング6階

TEL：022-223-2180

（中部支所）

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-7-2 加賀ビル4階

TEL：052-201-0881

（関西支所）

〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町5-10 茨木大同生命ビル2階

TEL：072-624-8686

（九州支所）

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 アジア太平洋インポートマート（AIMビル）7階

TEL：093-512-3620